

日本核医学会PET核医学分科会



PETサマナーセミナー 2012 in 信州

////// プ/ロ/グ/ラ/ム/

Return and Forever ～手を携えて未来へ～

大会長 小口 和浩 (相澤病院PETセンター)

【開催期間】 2012年8月31日(金)～9月2日(日)

【開催会場】 長野県松本市美ヶ原温泉 ホテル翔峰(しょうほう)



ようこそ、信州・松本へ！

PET サマーセミナー2012 in 信州

大会長 小口 和浩 相澤病院 PET センター

この度「PET サマーセミナー2012 in 信州」を、相澤病院の主催で開催させて頂くこととなりました。私は生まれも育ちも医師になってからも、ほとんど松本を出たことが無い生粋の松本っ子であり、このさわやかな信州・松本でPET サマーセミナーが開催されることを本当に嬉しく名誉に思います。

日本核医学会 PET 核医学会のホームページを見てみますと、初期の「PET 夏の学校」は信州白馬で行われております。今年は、PET サマーセミナーの発祥の信州に戻り、そして泊まり込み合宿形式という昔ながらの形式に戻り、職種や世代を超えて未来について語り合う会にしたい、そんな思いを込めて「Return and forever、～手を携えて未来へ～」というテーマといたしました。そして、最近参加が減りつつある企業の方々に是非多く参加して頂きたく、医療関係者と企業関係者の参加費の差をなくしました。

私は、PET に関わるようになって10年目の、まだまだ初心者です。そしてこの10年近く、日々ひたすら臨床患者さんの診断をしてまいりました。そんな「労働者代表」の私が大会長を勤めさせて頂くにあたり、わかりやすく、臨床現場に役立つ内容に重きを置きました。

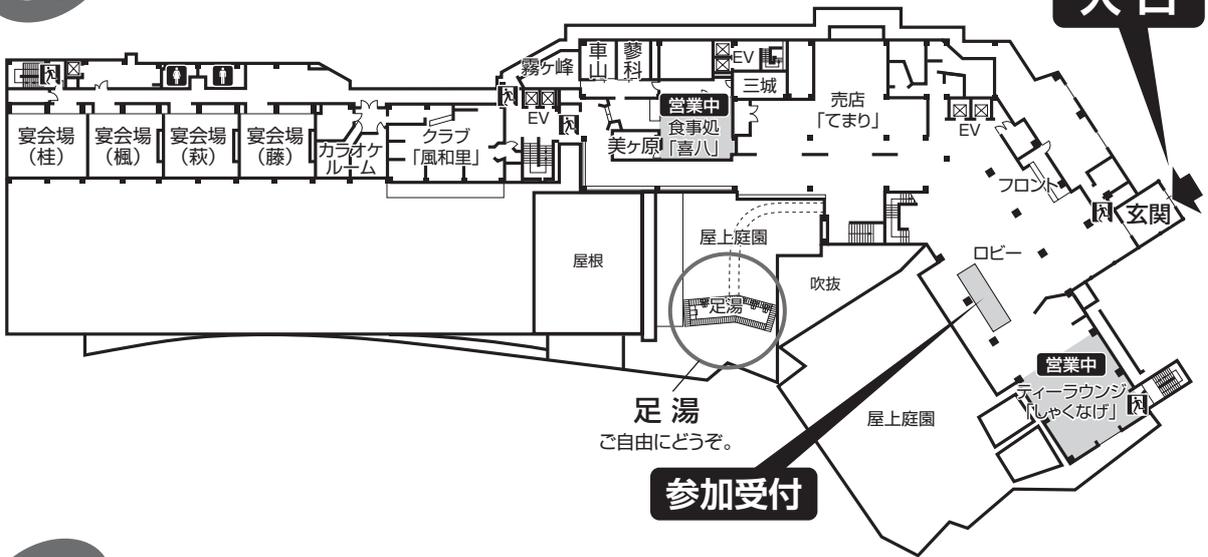
化学薬学のセッションでは、薬学の専門家のみならず、医師や初心者にもわかりやすい内容を企画して頂きました。今まであまり馴染みのなかった方々も、シンポジウムや夜の学校に是非足を運んでみて頂きたいと思います。また、一般病院でメチオニンやアミロイドイメージングなどのFDG以外の薬剤を導入するにはどうしたら良いのかについて、特にお願いして最先端の情報と併せて実際どうすればよいか分かるシンポジウムを企画いたしました。FDGの臨床では、敬遠されがちな心筋PETについて、実践的なプロトコルの紹介や保険適用になった心サルコイドーシスについてお話頂く予定です。サマーセミナーから帰る頃にはきっと「心筋PETは怖くない」と思って頂けるでしょう。腫瘍FDG-PET/CT診断においては経験がものを言います。夜の学校の症例検討、対抗クイズ形式で臨床症例を勉強する「バトル・ザ川中島！」では、臨床診断の肥しになるような症例を豊富にご経験頂けるとと思います。施設管理においては、法令の制定に伴う放射化物の管理など、しっかり情報共有して頂きたいと思います。

特別講演では、IgG4関連疾患と、アミロイドーシスについて、これらの分野で世界をリードする信州大学の先生方に特別講演をお願いしました。基礎から臨床まで、しっかり学んで頂けると期待しております。

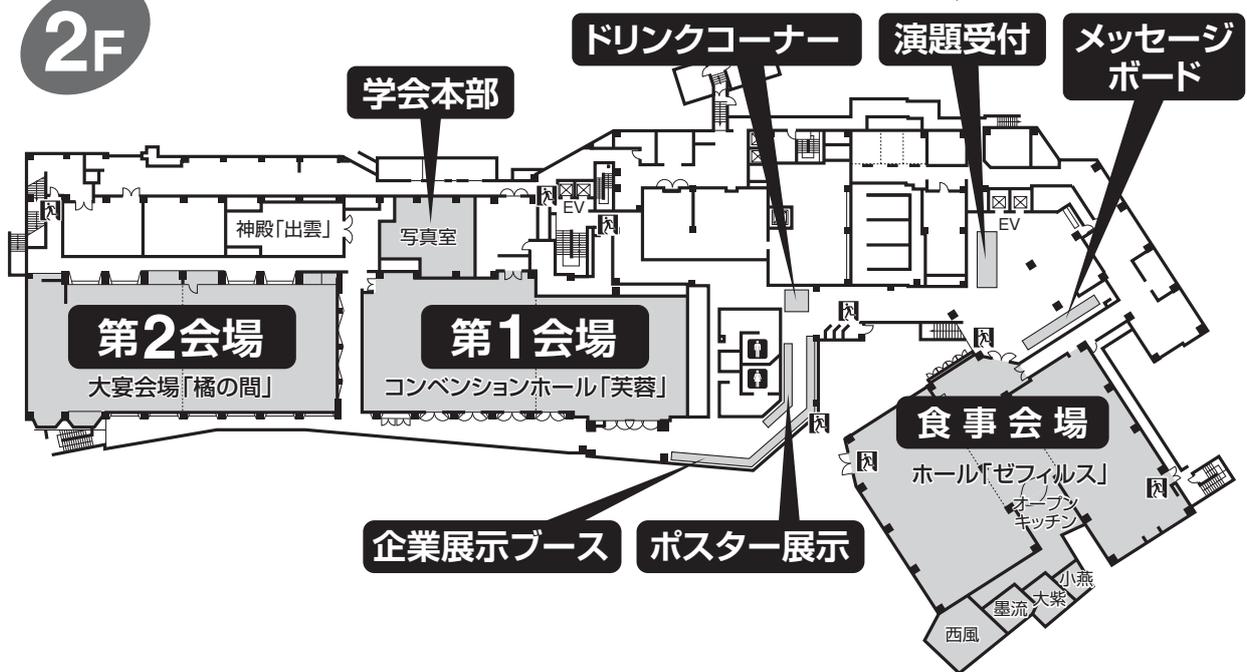
他にも、PET/MRIを中心としたワークインプログレス、PET撮像の施設認証について、治験や創薬へのPETの利用、種々の立場から語って頂く被曝低減の取り組み、バングラデシュとネットで繋いでのメディカルツーリズムの討論など、巻頭に詳細をご紹介しきれないのは残念ですが、盛りだくさんの内容でお楽しみ頂けると確信しております。そして、昼間はしっかり討論して頂き、昼間話せないような話題は、夜お酒をのみ温泉に浸かりながら情報交換して頂きたいと思います。

今年は悪性腫瘍のFDG-PETが保険適用になって10年、個人的には私が医師になって25年(そしてビートルズがメジャーデビューして50年!)です。このような節目の年に、大会長としてPETサマーセミナーのお手伝いができることを大変幸せに思っております。手作りのセミナーですので、至らない点や滞る場面も多々あるかと思いますが、しっかり勉強、しっかり呑んで、夏の終わりの信州を満喫して頂ければ幸いです。

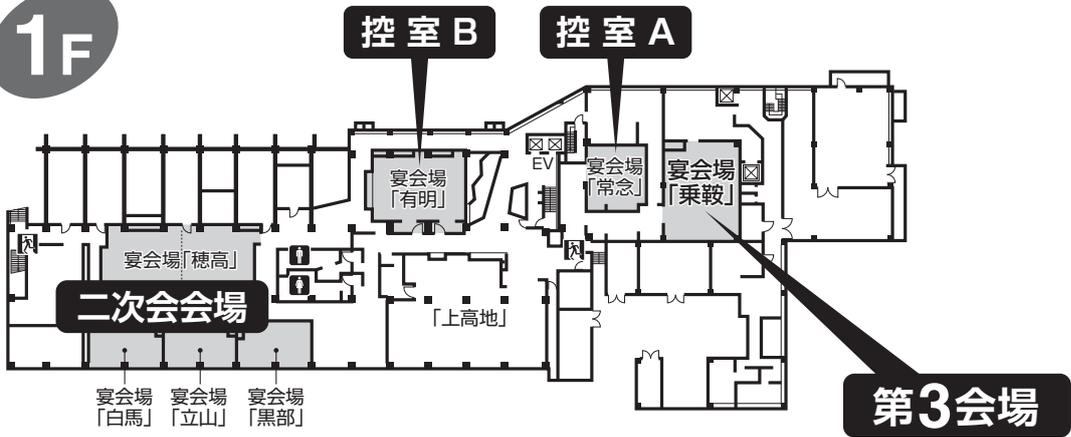
3F



2F



1F

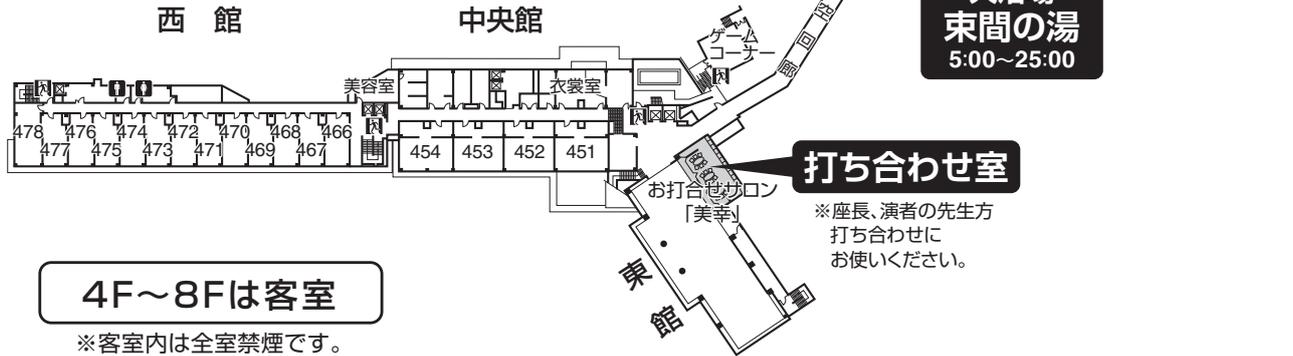


4F

宿泊プラン以外の方で入浴を希望される方

参加受付(または学会本部)にてレンタルタオル付の1日入浴券を1,000円で販売しております。

宿泊プランの方はご自分のお部屋からタオルをご持参になってご入浴ください。



4F~8Fは客室
※客室内は全室禁煙です。

打ち合わせ室
※座長、演者の先生方
打ち合わせに
お使いください。

主要会場

<p>PETサマーセミナー会場</p> <p>第1会場 芙蓉 (2F)</p> <p>第2会場 橘の間 (2F)</p> <p>第3会場 乗鞍 (1F)</p> <p>展示会場</p> <p>企業展示ブース (2F)</p> <p>ポスター展示 (2F)</p> <p>その他</p> <p>ドリンクコーナー(無料) (2F)</p>	<p>事務局</p> <p>参加受付 玄関ロビー (3F)</p> <p>演題受付 2Fロビー (2F)</p> <p>受付時間</p> <p>8/31(金) 13:30~20:00</p> <p>9/1(土) 8:00~16:00</p> <p>9/2(日) 8:00~10:00</p> <p>※発表1時間前迄には演題受付をお済ませください。</p> <p>学会本部 写真室 (2F)</p> <p>打ち合わせ室</p> <p>お打ち合わせサロン「美幸」(4F)</p>	<p>宴会会場</p> <p>懇親会 第1会場 芙蓉 (2F)</p> <p>二次会</p> <p>「穂高」「白馬」「立山」「黒部」(1F)</p> <p>夕食・朝食会場</p> <p>..... ホール「ゼフィルス」(2F)</p> <p>朝食 6:30~9:00</p> <p>夕食 18:00~20:00</p>
--	--	--

大会中開催の各種会議

	会議名称	日時	場所
1	臨床PET推進協議会幹事会	8月31日(金) 14:00~15:00	1階 第3会場「乗鞍」
2	PET核医学分科会 執行委員会	8月31日(金) 18:00~19:30	1階 第3会場「乗鞍」
3	施設代表者会議/ PET核医学分科会会員総会	9月1日(土) 7:30~8:50	2階 第1会場「芙蓉」
4	PET核医学分科会 常任役員会	9月1日(土) 12:00~13:00	1階 第3会場「乗鞍」
5	施設管理連絡会	9月1日(土) 15:00~16:00	1階 第3会場「乗鞍」
6	臨床PET推進協議会 全体会議	9月2日(日) 8:00~9:00	2階 第1会場「芙蓉」

学会会場 **ホテル翔峰** 〒390-0221 長野県松本市大字里山辺527 TEL0263-38-7755

事務局 **PETサマーセミナー 2012 in 信州**
〒390-8510 長野県松本市本庄2-5-1 相澤病院PETセンター内 TEL0263-33-1515(代)
E-mail: 2012@pet-summer-seminar.jp http://pet-summer-seminar.jp

1日目 8月31日(金) ホテル翔峰

	第1会場 2F 芙蓉		第2会場 2F 橋の間		第3会場 1F 乗鞍	ポスター会場 2F
14:00	14:00~15:20 GE ユーザー会				14:00~15:00 臨床PET 推進協議会 幹事会	
15:00						
16:00	15:30 開会宣言 小口 和浩 15:40~17:40 ワーク・イン・プログレス I. PET/MR の基礎知識 II. 各社 PET 装置の最新情報 座長：山口 慶一郎		15:40~17:40 化学薬学シンポジウム PET 薬剤の理解のために -PET 医師のための 化学・薬学の時間- 座長：高橋 和弘 石渡 喜一			15:40 ↓ 17:40 ポ ス タ ー
17:00						
18:00	18:00 夕 食 (2F「ゼフィルス」18:00~20:00) 19:00 入 浴				18:00~19:30 PET核医学 分科会 執行委員会	
20:00	<第1会場 A> 20:00~21:30 夜の学校 <臨床> 症例検討 座長：岡村 光英 塚本 江利子	<第1会場 B> 20:00~21:30 夜の学校 <看護> PET検査Q&A ~これって正しい? みんなで疑問を解 消しよう! 座長・演者： PET核医学看護 研究会	<第2会場 A> 20:00~21:30 夜の学校 <化学薬学> PET薬剤製造 現場からの声 座長：高橋 和弘 岩田 錬	<第2会場 B> 20:00~21:30 夜の学校 <技 術> 新旧のPET装 置をどう使う? 座長：越智 伸司		
21:00						
21:30						

2日目 9月1日(土) ホテル翔峰

	第1会場 2F 芙蓉	第2会場 2F 橋の間	第3会場 1F 乗鞍	ポスター会場 2F
7:30	7:30~8:50			
8:00	施設代表者会議 PET核医学分科会会員総会 (朝食兼)			
9:00	9:00~10:20	9:00~10:20		9:00 ~ 15:40
10:00	一般演題 臨床 座長：坂本 攝 柳澤 新	技術系シンポジウム PET撮像の標準化と施設認証 座長：福喜多 博義		
11:00	10:30~11:50	10:30~11:50		ポ ス タ ー
	スペシャルシンポジウム1 合成装置：FDG以外の 薬剤を使いたい 座長：伊藤 健吾	臨床シンポジウム2 心筋PETを実践するための基礎 知識～検査準備から画像評価まで～ 座長：吉永 恵一郎、工藤 崇 ※ PET核医学認定医更新における臨床編の 単位が認められるシンポジウムです。		
12:00	12:00~13:00	12:00~13:00	12:00~13:00	
13:00	ランチョンセミナー1 座長：塚本 江利子 共催：日本メジフィジックス GEヘルスケア・ジャパン	ランチョンセミナー2 座長：工藤 崇 共催：シーメンス ジャパン	PET核医学 分科会 常任役員会	
14:00	13:20~14:20	13:20~14:30		
	臨床講座1 IgG4関連疾患 座長：窪田 和雄 特別講演：川 茂幸 ※ PET核医学認定医更新における臨床編の 単位が認められるシンポジウムです。	施設管理シンポジウム 放射化物について考えましょう (改正法令の理解と対応) 座長：佐々木 将博		
15:00	14:20~15:40	14:30~15:40	14:40~15:40	
	臨床シンポジウム1 炎症診断へのFDG-PET/CTの利用 座長：南本 亮吾 ※ PET核医学認定医更新における臨床編の 単位が認められるシンポジウムです。	看護系シンポジウム 放射線を知り、被ばく防護を見直そう ～それぞれの立場から～ 座長：辰巳 早百合 佐野 亜紀	施設管理 連絡会 佐々木 将博	
16:00	自由行動の3時間			
17:00	◎松本市内観光：16時～18時 下記スポットとホテル間にバス運行 1. 松本城 2. 県の森～松本市美術館（施設は17時で閉館）			
18:00	◎入浴など			
19:00	19:00~19:05	中日韓核医学会議のご案内 小須田 茂		
20:00	19:05~21:30			
21:00	懇親会			
21:30				

2次会は1F「穂高」「白馬」「立山」「黒部」にて行います。

3日目 9月2日(日) ホテル翔峰

	第1会場 2F 芙蓉	第2会場 2F 橘の間	第3会場 1F 乗鞍	ポスター会場 2F
8:00	8:00~9:00 臨床PET推進協議会 全体会議 座長：遠藤 啓吾			8:00 ┆ 10:30 ポ ス タ ー
9:00	9:00~10:20 臨床講座2 アミロイドーシスの 臨床と画像 座長：松田 博史 特別講演：池田 修一 <small>※PET核医学認定医更新における 臨床編の単位が認められるシン ポジウムです。</small>	9:00~10:20 一般演題 看護・技術・他 座長：三輪 建太 遠藤 晴子		
10:00				
11:00	10:30~12:00 臨床講座3 フィルムリーディング 東西対抗 バトル・ザ川中島 座長：村上 康二 <small>※PET核医学認定医更新における 臨床編の単位が認められるシン ポジウムです。</small>	10:30~12:00 スペシャルシンポジウム2 メディカルツーリズム： 世界の中の日本 座長：陣之内 正史	10:30~11:30 スペシャルレクチャー 治験や高度医療としての PET検査... 通常のPETとどう違う？ 座長：畑澤 順	
12:00	12:00~ 閉会宣言 小口 和浩 次期大会長挨拶 絹谷 清剛			
13:00	12:30~14:30 島津ユーザー会 (島津ユーザーの クローズドな会)	相澤病院陽子線治療センター見学会(60名)		
14:00				
15:00				
16:00				
17:00				

プログラム

8月31日(金)

ワーク・イン・プログレス 15:40～17:40

第1会場(コンベンションホール「芙蓉」)

座長：山口慶一郎(仙台厚生病院)

[I. PET/MR の基礎知識]

全身統合型 MR-PET システム Biograph mMR について

寺田 泰陽(シーメンス・ジャパン株式会社)

[II. 各社 PET 装置の最新情報]

1 東芝 PET-CT 装置の最新情報

末兼 浩司(東芝メディカルシステムズ株式会社)

2 フィリップス社製 PET 装置の最新情報

新山 大樹(株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン)

3 島津 PET の最新情報

稲岡 祐一(株式会社島津製作所)

4 GE PET のWIP 技術

関口 康晴(GEヘルスケア・ジャパン株式会社)

5 SIEMENS PET/CT 最新技術 ～任意呼吸深度での PET 撮影 HD・Chest

小田川哲郎(シーメンス・ジャパン株式会社)

化学薬学シンポジウム 15:40～17:40

第2会場(大宴会場「橘の間」)

座長：高橋 和弘(理化学研究所)

石渡 喜一(東京都健康長寿医療センター研究所)

[PET 薬剤の理解のために —PET 医師のための化学・薬学の時間—]

1 歴史、変わらないもの

岩田 錬(東北大学)

2 薬剤開発、様々な可能性

旗野健太郎(国立長寿医療研究センター)

3 装置と薬事、日本の事情

高橋 和弘(理化学研究所)

4 製造環境、これからを考えるために

田沢 周作(理化学研究所)

5 薬剤の選択、違うんだなこれが

豊原 潤(東京都健康長寿医療センター研究所)

【夜の学校】

夜の学校〈臨床〉 20:00～21:30

第1会場 A (コンベンションホール「芙蓉」分割)

座長：岡村 光英(大阪府済生会中津病院)
塚本江利子(セントラルCIクリニック)

症例検討

- | | | |
|---|-----------------------------|-------|
| 1 | 腹腔内に認めた球状高吸収域：京都大学 | 子安 翔 |
| 2 | 頸髄腫瘍と左胸部腫瘤性病変：セントヒル病院 | 菅 一能 |
| 3 | 鑑別困難であった上顎腫瘍：東京医科歯科大学 | 藤岡 友之 |
| 4 | 不明熱：獨協医科大学病院 | 坂本 攝 |
| 5 | 原発不明癌のフォローアップ：名古屋放射線診断クリニック | 西尾 正美 |
| 6 | 多発リンパ節腫大：東京医科歯科大学 | 久保田一徳 |
| 7 | 全身リンパ節腫脹：大阪府済生会中津病院 | 岡村 光英 |

夜の学校〈看護〉 20:00～21:30

第1会場 B (コンベンションホール「芙蓉」分割)

[PET 検査 Q & A ～これって正しい? みんなで疑問を解消しよう!～]

座長・演者：PET 核医学看護研究会

辰巳早百合、迫間 幸子(大阪府済生会中津病院)

澤田 房子(東名古屋画像診断クリニック)

山内 洋子(先端医療センター)

玉川 郁子(近畿大学)

佐野 亜紀(草津総合病院)

遠藤 晴子(千葉療護センター)

座長：高橋 和弘(理化学研究所)
岩田 錬(東北大学)

[PET 薬剤製造現場からの声]

- 1 製造した薬剤に手を加えてもいい？
～薬剤師として思うこと～
内田 朋毅(千葉療護センター)
～動物実験からヒト臨床まで～
河嶋 秀和(国立循環器病研究センター研究所)
- 2 GMP、どうしたら良いの？
～がん研究センターでは～
本田 納紀(国立がん研究センター中央病院)
～秋田脳研で出来ること～
山口 博司(秋田県立脳血管研究センター)
- 3 エタノール製剤は使える？
～既存医薬品では～
中西 裕智(西陣病院)
～ラクラクですよ～
寺崎 一典(岩手医科大学)
- 4 ^{11}C 化合物の被曝評価は？
坂田 宗之(東京都健康長寿医療センター研究所)

座長：越智 伸司(セントラル CI クリニック)

[新旧の PET 装置をどう使う?]

- 1 PET 専用機から TOF-PET/CT まで
金谷 信一(東京女子医科大学病院)
- 2 2機種運用における True Whole-body PET/CT 検査について
中村 悦子(兵庫医科大学病院)
- 3 Discovery シリーズ 現状と新しい技術の狭間で…
武田 悟(金沢先進医学センター)

9月1日(土)

一般演題：臨床 9:00～10:20

第1会場(コンベンションホール「芙蓉」)

座長：坂本 柳澤 攝(獨協医科大学病院)
新(信州大学)

- 1 喉頭がんの放射線治療前 ^{18}F FDG PET での予後評価
福光 延吉(茨城県立中央病院)
- 2 原発性肺癌術後の FDG-PET/CT 所見の検討
寺田 珠沙(宮崎大学)
- 3 多発性骨髄腫の病勢評価における FDG PET/CT の有用性
菅 一能(セントヒル病院)
- 4 腫瘍再発と放射線壊死の鑑別における FDG PET/CT の有用性
菅 一能(セントヒル病院)
- 5 胆道・膵臓腫瘍診断における FDG-PET/MRI 融合画像の有用性についての検討
長町 茂樹(宮崎大学)
- 6 FDG-PET/CT における泌尿器科領域の撮影画像についての評価
安藤 茂樹(常磐病院)
- 7 乾癩性関節炎における FDG PET/CT
野上 宗伸(高知大学)
- 8 FMT-PET によるパーキンソン病の長期予後の報告
齋藤 順一(宇都宮セントラルクリニック)

スペシャルシンポジウム I 10:30～11:50

第1会場(コンベンションホール「芙蓉」)

座長：伊藤 健吾(国立長寿医療研究センター)

[合成装置：FDG 以外の薬剤を使いたい]

- 1 PET 臨床研究の心得と分子イメージング戦略会議の取組み
千田 道雄(先端医療センター)
- 2 新規薬剤の導入について
脇 厚生(放射線医学総合研究所)
- 3 先進医療制度とその申請
久下 裕司(北海道大学)
- 4 ボクにもやらせてアミロイド PET
横山 邦彦(公立松任石川中央病院)

9月2日(日)

臨床 PET 推進協議会全体会議 8:00～9:00

第1会場(コンベンションホール「芙蓉」)

1 開会のあいさつ

遠藤 啓吾(京都医療科学大学)

2 臨床 PET 推進協議会活動報告

(1) 日本核医学会健保委員会との連携活動

伊藤 健吾(国立長寿医療研究センター)

(2) 日本核医学会分子イメージング戦略会議との連携活動

(ガイドライン、教育プログラム、認証制度、高度医療の支援、PET 治験企業懇談会など)

千田 道雄(先端医療センター)

3 閉会

遠藤 啓吾

臨床講座2* 9:00～10:20

第1会場(コンベンションホール「芙蓉」)

座長: 松田 博史(国立精神・神経医療研究センター)

[アミロイドーシスの臨床と画像]

講演 核医学からみたアミロイドーシス

今林 悦子(埼玉医科大学国際医療センター)

特別講演 アミロイドーシスの病態と画像診断

池田 修一(信州大学医学部脳神経内科/リウマチ・膠原病内科 教授)

臨床講座3* 10:30～12:00

第1会場(コンベンションホール「芙蓉」)

座長: 村上 康二(慶応義塾大学)

[フィルムリーディング 東西対抗 バトル・ザ 川中島]

症例1: 国立国際医療研究センター 南本 亮吾

症例2: 国立国際医療研究センター 南本 亮吾

症例3: 東京女子医科大学 百瀬 満

症例4: 東京女子医科大学 百瀬 満

症例5: 慶応義塾大学 村上 康二

症例6: 慶応義塾大学 村上 康二

※ PET 核医学認定医更新における臨床編の単位が認められるシンポジウムです。

座長：三輪 建太(がん研有明病院)
遠藤 晴子(千葉療護センター)

- 1 集積部位の大きさによる真の SUV 値と実測 SUV 値との関係
～ 当院 PET 装置における真の悪性度の指標 ～
濱田 明広(藤元早鈴病院)
- 2 O-15 ガスを使用した脳循環代謝測定における新旧システムの比較検討について
藤崎 宏(国立循環器病研究センター)
- 3 アンケートから見る光生会病院 PET 健診
岩瀬 幹生(光生会病院)
- 4 PET センターにおける、がん患者の個人情報の取り扱いについて
安井真由美(森之宮クリニック)
- 5 PET 検査における看護師の被曝低減にむけた取り組み ～ナースコールを分析して～
吉岡 由美(九州大学病院)
- 6 造影 PET/CT 施行に伴う看護師の被曝の現状と低減の工夫
柏崎 梨恵(獨協医科大学病院)
- 7 PET-CT 検査従事者の患者 ADL(日常生活動作)別被ばくの実態
～被ばく低減への取り組み～
増田 真弓(長崎大学病院)
- 8 当院における認知症 PET 検査の状況
木道 里美(公立松任石川中央病院)

座長：陣之内正史(厚地記念クリニック)

[メディカルツーリズム：世界の中の日本]

- 1 PET 検診ツーリズムの傾向と対策
吉田 毅(古賀病院21)
- 2 メディカルツーリズム：世界の現状と日本に求められるもの
齋木 都夫(在バングラデシュ日本大使館)
- 3 Medical Tourism と聖路加メディローカスの戦略について
沼口 雄治(聖路加国際病院)

[治験や高度医療としての PET 検査 ... 通常の PET とどう違う?]

- 1 治験や高度医療としての PET はどのように計画され実施されるか
千田 道雄(先端医療センター)
- 2 治験や高度医療として PET 検査を行う場合に現場が注意すべきこと
西田 広之(先端医療センター、株式会社マイクロン)

- 1 脳 FDG-PET 検査時の絶食条件と待機条件の管理
遠藤 初美(東京都健康長寿医療センター研究所)
- 2 畜尿袋使用患者の PET-CT 検査時におけるスタッフ外部被曝低減への取り組み
小沼加代子(常磐病院)
- 3 放射性薬剤投与器 一住友重機社製 M130 と AI300 の比較と改善一
若狭 真樹(公立松任石川中央病院)
- 4 藤元早鈴病院における [^{11}C]-PE2I 合成に関して
濱田竜一郎(藤元病院)
- 5 犬のがん検診による FDG PET-CT での初期悪性腫瘍検出例
夏堀 雅宏(日本動物高度医療センター)
- 6 対向型乳腺専用 PET (PEM) の概要と臨床的有用性
伊藤 繁記(古河機械金属株式会社)
- 7 新しいシステムを利用した O-15 Gas 脳循環代謝測定に向けた基礎的検討
徳 俊成(国立循環器病研究センター)

夜の学校

症例検討

8月31日(金) 20時～

出題一覧

- | | | |
|---|-----------------------------|-------|
| 1 | 腹腔内に認めた球状高吸収域：京都大学 | 子安 翔 |
| 2 | 頸髄腫瘍と左胸部腫瘤性病変：セントヒル病院 | 菅 一能 |
| 3 | 鑑別困難であった上顎腫瘍：東京医科歯科大学 | 藤岡 友之 |
| 4 | 不明熱：獨協医科大学病院 | 坂本 攝 |
| 5 | 原発不明癌のフォローアップ：名古屋放射線診断クリニック | 西尾 正美 |
| 6 | 多発リンパ節腫大：東京医科歯科大学 | 久保田一徳 |
| 7 | 全身リンパ節腫脹：大阪府済生会中津病院 | 岡村 光英 |

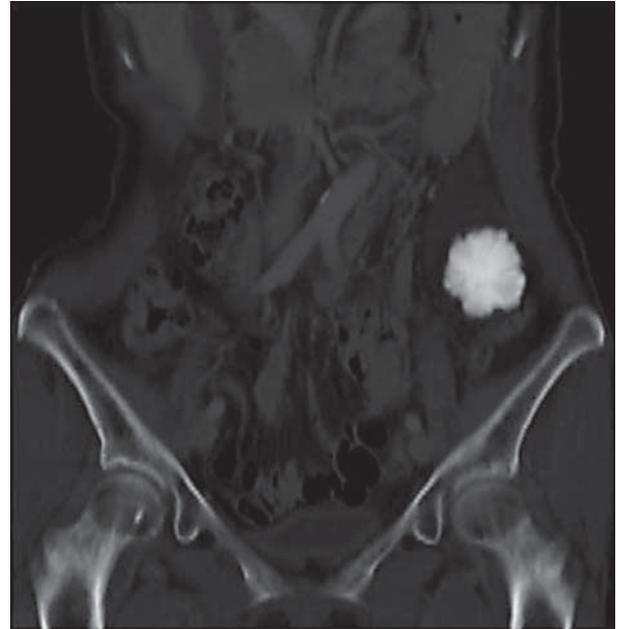
【症例】59歳女性

【主訴】腹部に腫瘤を自覚

【病歴】7週間前から腹部に移動性の腫瘤を触知、自覚するようになった。近医で卵巣腫瘍が疑われ、当院産婦人科を紹介され受診。

【既往歴、家族歴】特記すべきものなし。

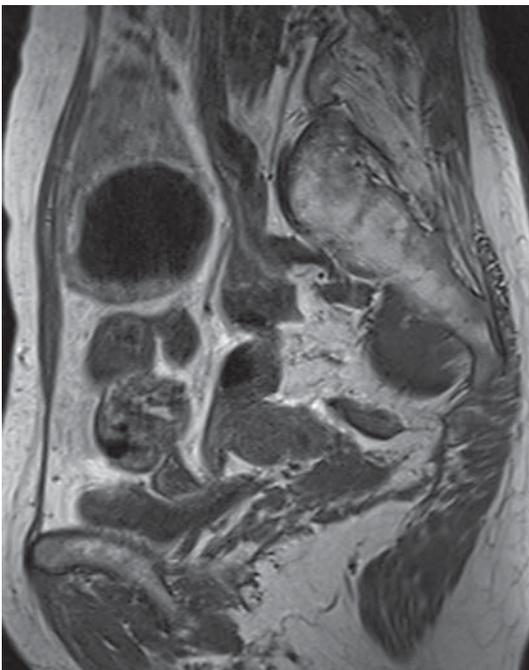
同冠状断像 骨条件



造影 CT 軸位断像 軟部条件



MRI T2強調画像 矢状断像



FDG-PET 冠状断像



【症例】50代、女性

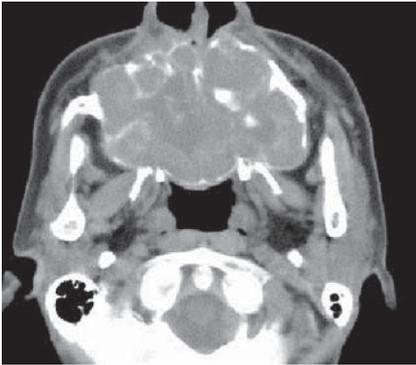
【主訴】鼻閉感

【既往歴】1990年頃：胆嚢摘出、橋本病、C型
肝炎。2005年頃：腎機能障害(近医にて指摘。

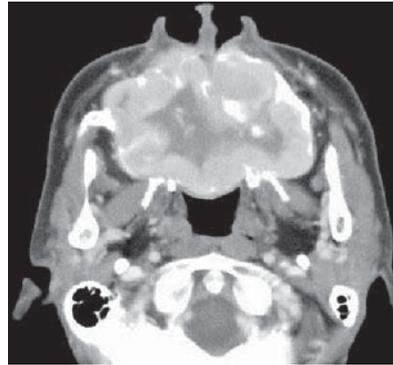
詳細不明)

【現病歴】2008年頃より頸部痛、顔貌の変化が
出現し、その後増悪した。2010年6月当院耳鼻
科受診となった。

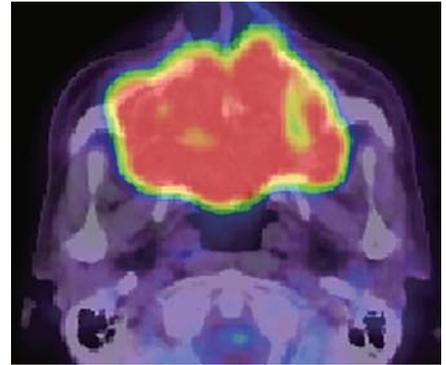
単純 CT



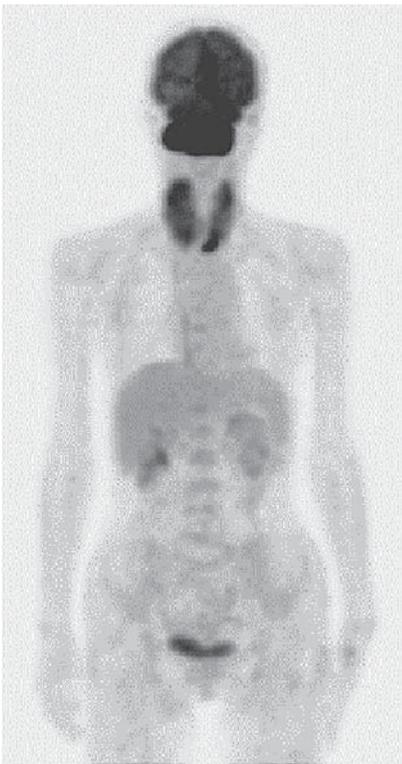
造影 CT



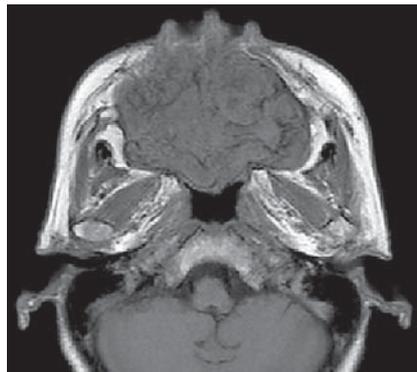
FDG-PET/CT



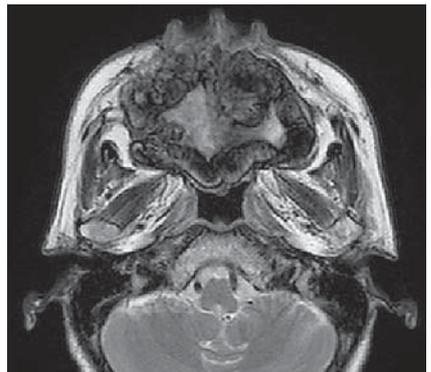
FDG/PET MIP



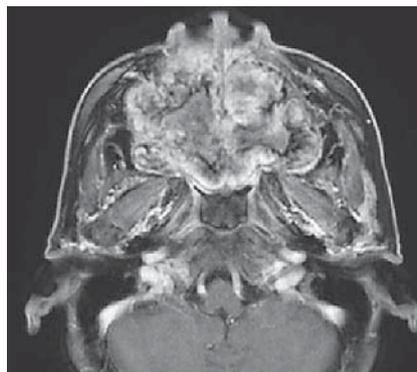
T1強調像



T2強調像



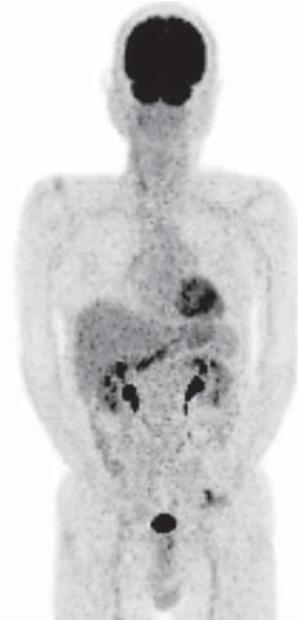
脂肪抑制併用造影 T1 強調像



【症例】70歳代 男性

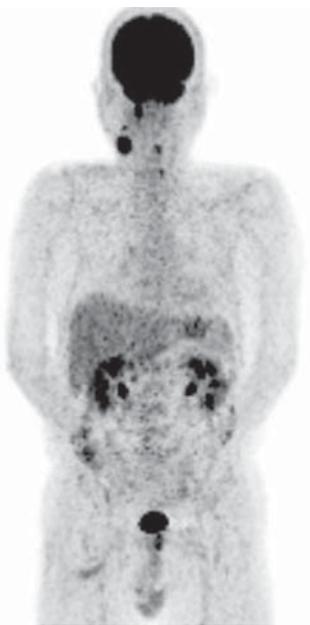
【現病歴】右頸部リンパ節腫脹あり、近医耳鼻科受診。吸引細胞診結果は adenocarcinoma であった。原発不明癌として当院に PET 検査依頼、施行(1回目 2011/2/15)。以後右頸部郭清術、放射線療法が施行され、フォローアップ中に CT で右中咽頭腫大と右肺結節を指摘。再度 PET 検査依頼、施行(2回目 2012/1/20)された。家族歴、既往歴；特記すべきものなし。

PET2回目 2012/1/20

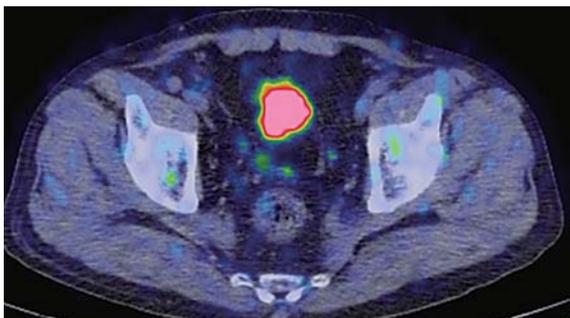
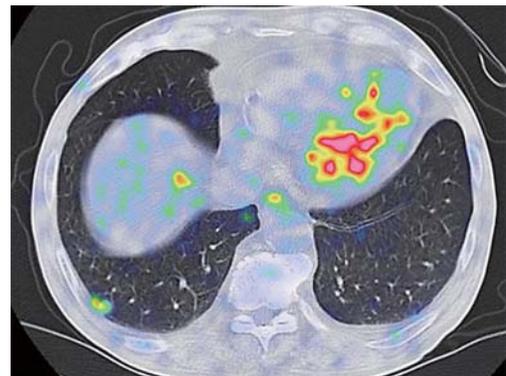


PET MIP

PET1回目 2011/2/15



PET MIP



PET/CT Fusion



PET/CT Fusion

【症例】70歳代男性

【主訴】なし

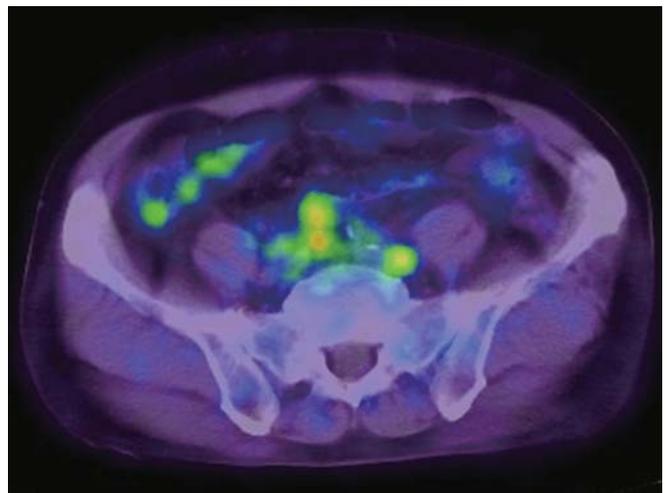
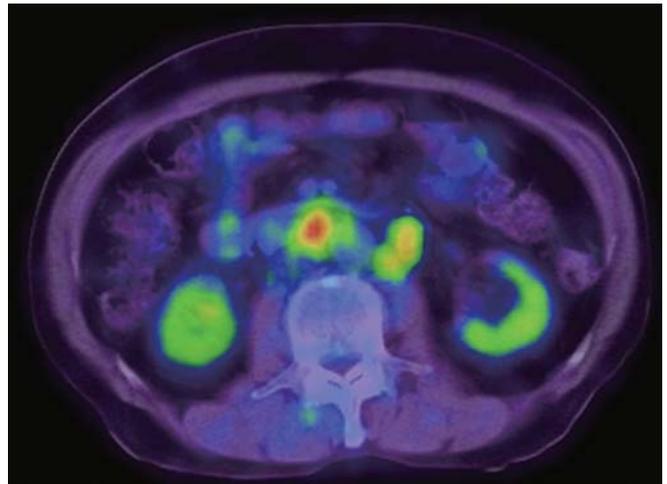
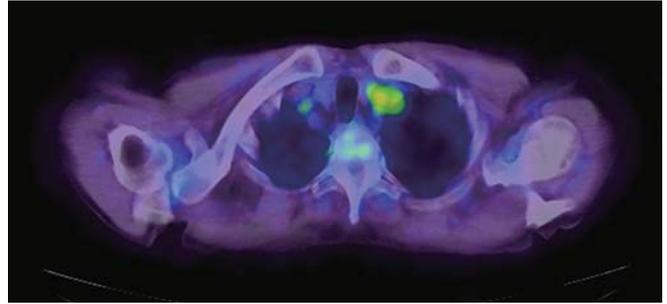
【現病歴】上顎洞嚢胞手術の際にCTで左鎖骨上リンパ節、腹部傍大動脈リンパ節腫大を指摘された。その後、リンパ節の増大傾向を認めた。原発不明の悪性腫瘍の多発リンパ節転移として

精査が開始され、FDG-PET/CTが撮像された。

【既往歴】高血圧、上顎洞嚢胞手術後

【生活歴】飲酒：機会飲酒、喫煙：30代まで2～3本/day、輸血：(-)、アレルギー：(-)

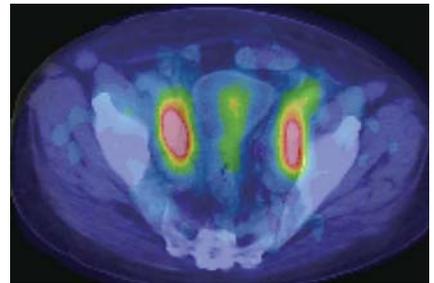
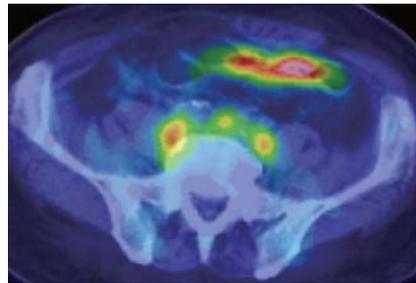
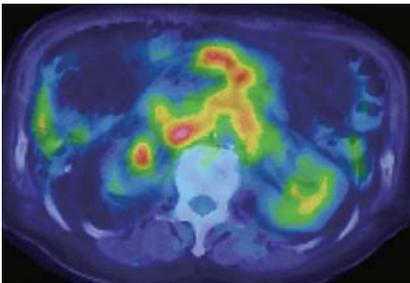
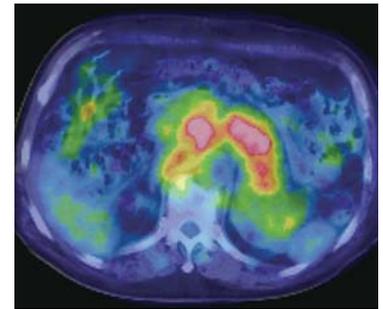
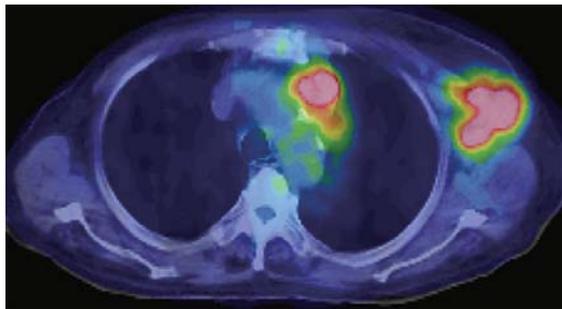
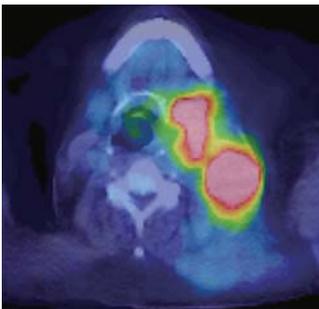
【検査所見】血算・生化：特記事項なし。PSA 0.77, CA19-9 20.0, CEA 239.7, sIL-2R 517



【症例】69歳男性
【主訴】全身リンパ節腫脹
【病歴】1年前より左頸部リンパ節腫脹あり。1ヶ月前CTにて頸部、腋窩、縦隔、腹部、骨盤部多数リンパ節腫大あり。原因精査目的でFDG PET/CT施行。
CEA : 6.7ng/ml、
CA19-9 : 1152.2U/ml、
sIL-2R : 690U/ml (220-530)。



FDG PET/CT
左：MIP 1時間後像
右：MIP 2時間後像
下：PET/CT 2時間後



一般演題

9月1日(土) 9:00~10:20

[臨床]

9月2日(日) 9:00~10:20

[看護・技術・他]

8月31日(金)~9月2日(日)

[ポスター発表]

新しいシステムを利用した O-15 Gas 脳循環代謝測定に向けた基礎的検討

○徳 俊成

国立循環器病研究センター

【目的】 当センターでは2010年に従前の PET 及びサイクロトロンが更新され、PET/CT とサイクロトロンが導入された。更に2011年には2台目の超小型サイクロトロンが導入された。

これまでサイクロトロンと PET で行われてきた O-15 ガス脳循環代謝測定は、今後、超小型サイクロトロンと PET/CT で行う方針である。

今回、新しいシステムによる O-15 ガス脳循環代謝測定のプロトコルの確率を行うにあたり、脳ファントムを用いて基礎的検討を行ったので報告する。

【方法】

1. 脳ファントムにマスクを装着し、ガス供給量の違いによる脳ファントムの ROI 値の変動を確認した。
2. 方法1に加え、模擬肺ファントムを設置し、模擬肺ファントムからの影響を確認した。
3. マスクを視野内及び視野外で撮像した場合の脳ファントムの ROI 値の変動を確認した。

【結果】

1. ガス供給量100～2,000MBq/min において、ROI 値の変動は約10%で、高い定量精度が得られるものと示唆された。
2. 模擬肺ファントム設置による ROI 値の変動は約3%で肺からの散乱線の影響は無視できるものと示唆された。
3. マスクを視野外にして撮像した場合、ROI 値の変動は約10%となり、マスクを視野内に含める方が高い精度が得られた。

【結論】 新しいシステムによる O-15 Gas 脳循環代謝測定システムは定量精度が確保された。

日本核医学会 PET 核医学分科会賛助会員

株式会社マイクロン

バイエル薬品株式会社 日本メジフィジックス株式会社 富士フイルム RI ファーマ株式会社
株式会社ナード研究所 セティ株式会社 株式会社アトックス 株式会社千代田テクノル アイソトープ事業本部
株式会社ユニバーサル技研 株式会社島津製作所 GEヘルスケア・ジャパン株式会社
株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン シーメンス・ジャパン株式会社 大陽日酸株式会社

出展・広告企業一覧 ※50音順

アミン株式会社	テルモ株式会社
エーザイ株式会社	東芝メディカルシステムズ株式会社
オリオン電機株式会社	株式会社ドクターネット
キッセイコムテック株式会社	中日本メディカルリンク株式会社
株式会社サングラフィックス	日本化薬株式会社
株式会社島津製作所	バイエル薬品株式会社
シーメンス・ジャパン株式会社	株式会社日立メディコ
GEヘルスケア・ジャパン株式会社	ピー・エス・ピー株式会社
JFEテクノス株式会社	株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン
住友重機械工業株式会社	富士製薬工業株式会社
大陽日酸株式会社	富士フイルム RI ファーマ株式会社
第一三共株式会社	株式会社マイクロン
大日本住友製薬株式会社	日本メジフィジックス株式会社
株式会社千代田テクノル	

協賛一覧 ※50音順

アミン株式会社	東芝メディカルシステムズ株式会社
エレクトラ株式会社	テルモ株式会社
エーザイ株式会社	中日本メディカルリンク株式会社
株式会社上條器械店	富士製薬工業株式会社
共栄医科器械株式会社	富士フイルム RI ファーマ株式会社
株式会社島津製作所	富士フイルムメディカル株式会社
株式会社ジェイマックスシステム	株式会社マイクロン
住友重機械工業株式会社	丸文通商株式会社

PET サマーセミナー2012 in 信州 大会組織

大会長 小口 和浩

実行委員長 星野 淳一

事務局長 池田 順子(株式会社サングラフィックス)

実行委員 石川 千裕、名川 健一、柳澤 直樹、栗津原 剛、安楽 弘一、山田 昌矢

スタッフ 社会医療法人財団慈泉会 竹内 亮、椛島 博彰、松下 光、高木 洋明、細川 理博、新明 香恵、
橘 玲子、齊藤 佳祐、杉島 久司、加藤 利彦、牧野 泰行、山田 茂実、菅沼 敏充

信州大学医学部画像医学講座 柳澤 新

株式会社長野メディカルサポート 堀川 百合江、北沢 恵美、百瀬 美枝子、松下 和恵、甲田 睦美

協力 株式会社 JTB 中部 加藤 照康、株式会社パラメディカル 泉 重雄、ホテル翔峰

PET サマーセミナー2013 in 加賀百万石のご案内

大会長名：絹谷 清剛(金沢大学医薬保健研究域医学系核医学) 開催日時：2013年8月23日(金)～25日(日)

会場：石川県金沢市ホテル日航金沢(JR 金沢駅前)

テーマ：PETで医療界のかぶき者だ！

2013年の夏は、金沢で酒飲んで新鮮なサカナ食ってPET話をして、沸騰しましょう。

加賀百万石の礎を築いた前田利家は、槍を持たせれば天下第一品、“槍の又左”の異名をとるかぶき者であったと言われていました。我々はPETという槍を持って、金沢で新しい纏を身につけて、医療界のかぶき者になりましょう。皆様の参加を心待ちにしております。